

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」



事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【愛知県稲沢市立千代田小学校】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	稲沢市立千代田小学校 4年1組38人 4年2組39人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 体育・総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	オリンピック出場経験者を含む現役選手から、ホッケーの魅力やスティックの使い方を教えていただき、スポーツの楽しさを感じる。 目標に向かって努力している体験談やフェアプレーの大切さなどをトップアスリートから聞くことにより、スポーツを楽しむ心や挑戦する心を育成する。
5 取組内容	1 事前学習 ① 歴史や意義 オリンピック・パラリンピックの歴史や意義について、クイズ形式で学んだ。 ② ギリシャ共和国オリンピア市と稲沢市 以下のような両市の関係や交流について学んだ。 「古代オリンピック競技は裸で行われていたことと、尾張大國霊神社（稲沢市）のはだか祭りと共通するものがあることなどから、両市は姉妹友好都市となっている。両市の交流事業の一つとして、聖火リレー中学生派遣事業が行われている。オリンピック聖火ランナーとして市内の中学生の派遣を長野冬季大会に、平成16年のアテネ大会以降は4年ごとに実施し、採火式や聖火リレーに参加している。」 2 ホッケー体験 講師：ソニーホッケークラブ「ブラビアレディーズ」 ・ホッケーの魅力について ・スティックの使い方 ・スティックでボール遊び 体験学習のはじめに、アスリートの皆さんからチームとして日本一を目指し、個人としてはオリンピック出場を目



	<p>標にして日々の練習に取り組んでいること、夢があるからこそ頑張れることなどの話を聞いた。</p> <p>そして、スティックの持ち方や使い方の注意点を学び、スティックでボールを転がすことに慣れた後に、ドリブルの練習を行いグループに分かれてリレー形式で楽しんだ。ペアでパスの練習をした後には、速くパス交換することを競い合った。</p> <p>3 振り返り</p> <p>オリンピック・パラリンピックについての学習とホッケー体験をとおして、相手への敬意をもってゲームに臨む姿勢やスポーツに対する興味について、振り返りを行った。学んだ内容への感想やスポーツしていく意欲などについてクラスで話し合った。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>はじめてホッケーにふれる児童がほとんどであり、興味深くスティックの使い方などを教えてもらうことができた。個別に声をかけてもらったときには、うれしそうにアドバイスを聞いていた。トップアスリートの選手たちに直接教えていただけることは、児童にとって貴重な経験となり、挑戦していく姿勢を学ぶことができた。</p> <p>【児童の感想より】</p> <p>「ホッケーが好きになりました。選手の皆さんを前にして、わくわくドキドキが止まりませんでした。やってみるととても難しいスポーツだと分かりました。皆さんに教えてもらわなければ、一生ホッケーと出会うこともなかったと思います。給食の時も楽しくおしゃべりできてよかったです。また会いたいです。」</p> <p>「ドリブルは、スティックの片面しか使えないので難しかったけど、教えてもらったらできるようになりました。日本代表の選手の人にほめてもらって、スポーツの苦手なぼくにとっては、すごくうれしかったです。ありがとうございました。僕も運動をがんばります。」</p> <p>「パスがすごく高速でビックリしました。皆さんの姿を見て、とてもカッコイイと思いました。私が走っているときも『がんばれー』と応援してくれて、とてもうれしかったです。わたしもそんなカッコイイ大人になりたいです。」</p> 
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習では、オリンピック市と関係のある稲沢市としての特色を活かした。 ・児童にも扱える軽量のスティックとボールを用意していただき、親しみやすいスポーツとして体験した。 ・給食を一緒に食べる時に、質問や会話をとおしてトップアスリートとの交流を図った。
<p>8主な課題等</p>	<p>障がい者スポーツとしてのパラリンピックの競技にも関心をもたせたい。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>ソニーホッケークラブ「ブラビアレディーズ」の選手と、今まで通りに、ホッケー体験そしてトップアスリートとの交流事業として継続していきたい。</p>